

① 鹿角地区 【水土里ネット鹿角支部】

農業体験活動

(1) 八幡平小学校、末広小学校の体験学習で実施している「田植え・稲刈り」に参加。

① 田植え体験学習

田植え学習へ出発する前に、各小学校学習田周辺の農業用施設マップや、パワーポイントを使い、施設の位置や構造、取水した水がどんな施設をとおり田んぼに流れつくのか等、施設の重要性や水の大切さ、水土里ネットの役割や取り組み等を説明しました。

どちらの小学校も手植え作業での田植えに挑戦しました。初めて田んぼに入る子供も多く、泥だらけになりながらも一生懸命に田植えを行っていました。

② 稲刈り体験学習

八幡平小学校の体験学習で田植えした学習田のお米が立派に稔り、10月3日に稲刈りが行われました。

慣れない手つきで稲刈り鎌を持ち、大変な作業に耐えながらも、最後は「はさ掛」まで行い楽しい秋の1日になりました。

③ 大収穫祭

11月に収穫感謝祭があり、田植え、稲刈りを手伝った保護者や地域の人達に招待状が届きました。今年は、収穫したお米で「だまっこ」を作りました。各班毎に、だまっこの形を工夫し味付けにも班のこだわりが見られました。最後に子供達全員から感謝の言葉と歌をプレゼントしてもらい、新米をおいしく味わってきました。



活動体制	
実施主体	水土里ネット鹿角支部（秋田県土地改良事業団体連合会鹿角支部）
後援・連携	鹿角市内小学校、かつの土地改良区、鹿角地域振興局
実施期間	5月～10月
参加者	農業体験（田植え・稲刈り）93名
報道関連	北鹿新聞、米代新報
活動実施年数	11年目（H15年～）
連絡先	〒018-5201 鹿角市花輪字荒田4-1 かつの土地改良区 TEL. 0186-23-3762
その他	県特別賞（H24）

【活動内容に対する自己評価】 水土里ネット鹿角支部（根本由紀子）

○活動の目標及び達成率	目標	小学校の総合学習等に積極的に参加し、農業体験等で農業農村の重要性や水土里ネットの役割をPRする。			
	達成率	60%			
○活動に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に比べ、計画的に活動することができず残念でした。 すべての運動で、関係機関と連携し協力を得ながら活動することができました。今後も更なる体制強化を図り活動を推進していきたいです。 				
判定基準	自己判定（達成度）		判定基準	自己判定（達成度）	
	判定	評価等		判定	評価等
1. 取組体制について			②運動の発展・拡大	A	関係機関である鹿角地域振興局と連携し協力を得ながら活動している。報道機関を活用し幅広く活動をPRしていく。
①役職員・組合員の参加	B	役職員一体で取り組んでいる。	③運動の計画性	A	地域に合った内容で、農業施設の位置マップやパワーポイントを使い、役割や重要性、水土里ネットがどう関わっているのかを説明。
②後継者育成の工夫	A	地域毎にパンフレットや施設マップを作成し小学生へ説明している。	4. 運動の成果		
2. 活動の意義性について			a. 組織活性化	C	運動の対象を小学生としているため、生徒のお家の方や地域の関与した人の参加となっている。今後幅広く活動していけるよう取り組みたい。
①基本理念の設定	B	地域環境に合う内容で小学生が理解できるような活動をしている。	b. 地域農業	C	地域柄、農家の方々が主体となり農業振興に積極的に活動できているので、改良区はサポート的な組織として活動している。
②地域の歴史等の伝承	B	水土里ネットの役割や取り組みをパンフレットにまとめ、PRをしている。	c. 地域コミュニティー	B	市内の小中学生を対象とした活動を10年以上続けてきて、今年初めて小学校側から出前授業の申し込みがあり、運動への理解が浸透し、信頼関係が築けてきたと実感しました。子供達とおして、家族や地域住民にも農業に対しての関心が、今以上に高められるよう運動を継続していきたい。
③運動の先駆性	C	管内全ての小学校を対象として活動出来るよう更なる取り組みが必要。型にはまった活動となってきている。今後検討が必要。	d. 地域資源管理	C	
3. 運動の継続性・発展性			5. 今後の課題等について		
①運動の継続性	A	学校側や各関係機関の協力を得ながら今後も継続していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 未来の農業を担う子供達が、農業で必要な地域農業施設や水の大切さについて関心を高める活動にしたい。 		

(自己判定) A：大いに達成している B：達成している C：少しは達成している D：達成していない E：その他